

3.11 ソレカラ

～ 障害者・福祉職員の「あの日」と「ソレカラ」～

平成23年3月11日、私たちは突然大きな悲しみと痛みを抱えることになりました。

そして、「あの日」、私たちのそばには障害者・福祉職員たちがいました。

障害者・福祉職員が体感した東日本大震災。

「あの日」と「ソレカラ」で、これまでの歩みと想いを伝えます。



I、今回の展示について



本展示は、障害者・福祉職員の震災の体験や記憶、復興過程や現状をヒアリングし、まとめたものになります。平成23年3月11日、「あの日」のそれぞれの出来事、そして、これまでの歩みである「ソレカラ」を通して、災害弱者と言われる障害者や福祉職員が直面した困難・思い・感謝を伝えます。ひとりひとりの記憶をともに振り返ることで、彼らを知り、理解を深め、これからへとつなげます。

II、障害者就労支援事業所について



障害者就労支援事業所は、障害者が働くことを通して、社会参加や自立を支援することを目的としています。就労活動を通して工賃を得ることで、働く喜びや達成感も得られ、社会参加・地域とのつながりが深まっていきます。

知ることは、つながるということ
今回の展示を通して皆様の心に残った想いを、いつかつなげて下さい。